

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすくら 豊田西岡教室

保護者等数(児童数)18人 回収数 18 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18				・広すぎるぐらい ・宿題部屋が落ち着いて良い	仕切りや棚などを上手く使いスペースを仕切った
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17			1	・十分だと思う	公認心理師や、教員、保育士など幅広く雇用
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16			2	・段差など特にない	今のところ必要ないが今後トイレなどの手すりは検討していく
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18				・満足しています。	・ご意見があれば、いつでも対応させていただきます。ニーズに合わせた計画を作成させていただきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17			1	・色々なプログラムで色々な経験ができてうれしい	・月に一度プログラム会議を行い、固定化しないように行わせていただいております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5		4	9	・交流していただけるとありがたいです。	・是非今後行っていきたいと検討させていただきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18				・大変満足しています。	・分かりやすい説明を心がけております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	18				・写真が見られるので嬉しいです。	・できるだけ迅速に連絡帳や個別で対応させていただきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1		1	・今後機会があれば助言をいただきたいです。	・保護者様からご要望があればいつでも対応させていただきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6		5	7	・参加していない	・是非今後行っていきたいと検討させていただきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15			3	・電話で問い合わせをした際、すぐに対応していただきました。	・なにかあればいつでも対応させていただきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18				・連絡帳や送迎の際にお話が聞けるので嬉しいです。	・迅速に行えるよう努めさせていただいております。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16			2	・毎回LINEで活動の写真を送ってもらえて、子どもの様子が分かり、有り難いです。	・今後も継続して行っていきたく思っております。
14 個人情報に十分注意しているか	16			1	・注意していただいていると思います。	・スタッフ全員入社の際に誓約書を書いてご対応させていただいております。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	1		3	・防犯マニュアルについて詳しく知りたい	・教室内に掲示してあります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	2		6	・どんな訓練をしているのか、もっと詳しく知りたい	・ご質問があれば、いつでも対応させていただきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	15	3			・楽しみにしてくれています。	・子どもたちが笑顔で通っていただけるよう心がけております。
	18 事業所の支援に満足しているか	18				・送迎の到着時に連絡下さって、準備ができるので安心です。 ・おやつのパリエーションを増やしてほしい	・個々に合わせた支援を心がけております。

271 7 9 36

84%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら豊田西岡教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12		・児童と放デイ等部屋が分かれていて人数により配慮等適切に行っている ・目的や活動内容に応じて、教室を使い分けたり、仕切りを用いたり、常に環境整備を行っている	・パーティションを増やす 倒れたり折れたりするので強度を持たせたものを作る
	2 職員の配置数は適切である	12		・男性スタッフが必要な時は、配置を換えるなど、必要に応じて適切にしている ・規定数を守り、子どもが十分の見られるよう配慮している	・夏休みの時、職員数が少ないことがあり、遊んでほしいという気持ちが多い子がいたら大変でした。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	12		・段差がなくフラットな造りになっている ・トイレ等も広めになっているので良い	手すりなども今後検討
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	1	・毎日の振り返りや、期間ごとに目標設定もやっている	振り返りシートを基に職員会議を行う
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12		・行事後はアンケートを行い、結果をまとめて、職員に周知している	今後ゲーグルフォームを使いアンケートも検討している
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	1	・こぼんはうすのホームページで公開している	ホームページに掲載しています
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	3	・評価ができることで、常に改善や目標を持つことができる	本部から訪問時にいろいろとご指導を頂くことができる
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11		・研修に参加し、参加後に報告書を用いて職員に内容を共有している	各自も研修情報を取得してもらい、積極的に行う。そのためにも人員をしっかり確保する
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	1	・職員全員で相談する時間を作り、行っている ・その子どもがやりたいことや、課題に合わせた計画案を作成している	保護者様の意見を踏まえ、職員会議で検討事例会議を必ず行う
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	2	・個別支援計画書をスタッフがいつでも確認できるようにしている	今後はシステムが変わり誰でも確認がすぐ出来るようになる
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	11	1	・職員間で話し合い、分担して行っている	社員が主に中心になって全員で作るようにする
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11		・月ごとにイベントや、新しい活動を取り入れている。	季節に沿ったプログラム内容を心がけ、ネットや本などから情報を取得し、話し合いながらすすめる
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	1	・子どもが過ごす時間の長短についてもしっかり考えて行っている	平日は全員取り組める内容を、休日はイベントを盛り込み、必ず支援内容に沿ったプログラムを作る
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11		・個々の課題と、集団での課題をしっかり把握した上で、運営を行っている ・集団活動と合わせて個人の活動を達成できるように個別活動を行っている	・個々のことを現場だけでなく、書面上でも対応の仕方を細かく話し合う
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	1	・活動の確認や流れ等の話し合いをしている ・職員からパートさんへも連絡し、全員で連携が取れるように努めている。	朝礼でプログラム内容を確認し、時間があれば模擬を行う
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12		・利用者様の変化等、都度、報告相談等している	その日の様子を必ずLINEにUPLし、全員が共有
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	1	・個々の課題等、評価表を作成して、日々の支援にて活用している	今後システムが変わるので全てを一括で共有出来る事が出来るようになる
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11		・半年に一度、モニタリングを行い、保護者と計画についての話し合いを行っている	今後変わるシステムが、漏れのないようにチェックしてくれるようになる
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	10	1	・プログラムの中に必ず入れて行っている	ガイドラインの内容が組み込まれた運営指針なのでスタッフが見える場所に大きく提示	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11		・児発管が参加している	児発管、児発管のOJT、管理者など幅広く出席できるようにする	
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	12		・学校だよりや担任などから情報を頂き、スタッフと共有している	送迎時に学校側とコミュニケーションをしっかりと取り学校との懇談会なども今後検討していく	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	1	・現在該当児童なし	今後受け入れの検討
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11		・相談員さんを通じて、情報共有を行っている	関係機関との連携を深めるために研修等により参加していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	1	・まだ1年目なので移行する児童はいませんが、いつでも情報を提供する準備はできている	お子様の情報を管理し、いつでも開示、提供できるように整理しておく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11		・研修の機会も多く職員も積極的に参加している	メールの案内以外からも研修の情報を探する
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	1	・外出レク等を通して、やり取りなどしたり交流する機会がある	お出かけなどどんどん行っていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	2	・お話しがあれば積極的に参加している	情報を共有して積極的に参加できるよう、スタッフも増員していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12		・連絡帳、送迎時の顔合わせで連携をとり、話す機会もつづけている。	連絡帳や公式LINEでいつでも連絡できる体制作り
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10	1	・電話対応などの研修を行っている	参観日を長期連休に必ず行う
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11		・契約時や変更時に説明している	・支援の仕方など、職員間で把握できるよう、小さくても張り出すようにする
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12		・ご相談があれば、随時ご相談いただいております	いつでも相談できるよう、保護者様とコミュニケーションを図る機会を作る 座談会なども検討中
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	2	・参観日を開催して、交流のきっかけにしたい	・コロナ拡大もあり、保護者会など行えていなかったが、今後開催も検討していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12		・要望や意見など頂いた場合は迅速な対応を努めている	苦情があった際は必ず全員のSNSで事実確認を行いその日中に対応する事を徹底している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	1	・LINEにて、随時発信している	今後ホームページなども力を入れていく
	35	個人情報に十分注意している	12		・鍵付きの書庫に保管している ・電話の受け答え等にも情報が漏れないように十分注意して行う	鍵付き書庫、鍵の管理をさらに徹底 仕事の持ち出しは絶対禁止
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12		・子どもや保護者に寄り添った、分かりやすい方法で行っている	スタッフ間でもしっかり共有
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	3	・体験会など、開催している	アンケート次第で検討していく
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11		・常に掲示して、みんなが周知できるようにしている	掲示をもっと分かりやすくする
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12		・半年に一度は避難訓練を行っている	消防署の方にも来てもらうことを検討
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12		・虐待防止委員会の動画研修などを行っている	月一回の職員会議に少しずつ盛り込んでいく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11		・やむを得ない場合は職員間で確認を取り、保護者にも伝えたと上で行うことを、記載している	基本的には身体拘束は行わないということを徹底
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11		・入所の際に必ず確認する ・現在アレルギー児はいないが、入所した場合適切に対応していく	分かりやすく提示
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		・朝礼で常に共有している	毎日のヒヤリハットの報告を必須で、月一回の職員会議はそれらをまとめ検討会議も行う